「性感染症に対する新しい簡易遺伝子診断法の開発」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院ＩＲＢ（アイ・アール・ビー）の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、通常検査後の残余検体（あまり）およびカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

病院 IRB 承認日から 2027 年 3 月 31 日の期間に、埼玉医科大学病院　感染症科・感染制御科を受診した 18 歳以上の患者さんのうち、性感染症が疑われ、うがい液、尿、膣スワブを使用した検査が行われ、検体より性感染症の病原菌（淋菌、クラミジア、マイコプラズマ、ウレアプラズマ）が検出された患者さんを対象としております。

２．研究の目的

淋菌、クラミジア、マイコプラズマ、ウレアプラズマは、性感染症の病原菌であり、尿道炎、子宮頚管炎、咽頭炎などの原因となります。近年、これらの病原菌において、治療薬が効きにくい菌（薬剤耐性菌）が国内で流行しています。今回、私たちは、新たに性感染症を診断し、薬剤耐性菌を検出するための、簡易的な遺伝子検査法を開発するとともに、その有用性を検証します。今回の研究成果を公表することにより、迅速な性感染症の診断と治療に役立てることができれば、今後の性感染症に対する診療が向上できると考えております。

３．研究期間

病院長の許可後　～　2027 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

診療上の必要性から採取され、検査が行われた検体（うがい液、尿、膣ぬぐい検体）の検査後残余（あまり）を使用します。研究の目的で新たに検体を採取することはありません。併せて、臨床情報（年齢、性別、臨床所見、治療歴、性感染症の検査結果、性的指向、性風俗産業従事・利用の有無、不特定多数との性交歴）を使用します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

診療上の必要性から採取され、検査が行われた検体の検査後残余を回収します。また、臨床情報の収集には診療記録等を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院　中央検査部　前田　卓哉（研究代表者）

４．試料・情報の管理責任者

＜提供元機関＞　KARADA 内科クリニック（五反田院）　院長　佐藤 昭裕
＜提供元機関＞　KARADA 内科クリニック（渋谷院）　院長　田中 雅之
＜提供先機関＞　埼玉医科大学病院　病院長　篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身の検体またはカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院　中央検査部　講師　今井　一男
住所：〒351-0495　埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電話：046-276-1175（土日祝日を除く 8：30～17：30）

〇研究課題名：性感染症に対する新しい簡易遺伝子診断法の開発
〇研究責任者：埼玉医科大学病院　中央検査部　前田　卓哉